

こんなに変わるの!?

新しい表装に仕立て直すまで

表装は作品の印象を決める重要な要素のひとつです。また、表装を仕立て直すことによって、本紙にあったシワや折れなどの傷みがおさまる場合があります。

普段なかなか見ることのできない表装を仕立て直す工程や、実際に使用する貴重な道具類、新旧の表装による作品の印象の違いをお楽しみください。

まっしろな紙の表装の傷みが目立つね。左右の柱には細かい折れがたくさんあるよ。



本紙にも大きな折れがあるね。写真では見えないけど小さな穴もあるよ。



作者名：川村碩布
作品名：群亀図
材質技法：紙本墨画
(紙に墨)

制作年：1834年
所 蔵：個人



修理前

01 作品の調査

作業に入る前に、対象をとる作品を採寸し、材質や形状、損傷箇所を調査して記録します。この記録に基づいて修復方針を決定します。



調査（作品の採寸）



作品写真に損傷箇所を記入する

02 ドライクリーニング

柔らかい毛先の刷毛を使い、表面に付着しているほこり等の汚れを除去します。



刷毛でほこりを除去

03 はくらく剥落止め

彩色部分の膠にかわの接着力が低下している場合に、膠水などを補充し定着させます。

04

現在の表装の解体

はっそう じくぎ
八双や軸木を取り外します。その後、裏面を水で湿らせて接着をゆるめ、
本紙と裂地を継ぎ合わせていた部分や、そうらがみ総裏紙を取り外します。



(1)八双を取るためまずは環を取り外す



(2)小刀を使い軸木を取り外す



(3)噴霧器と水刷毛で全体に湿りを入れる



(4)総裏紙を取り外す

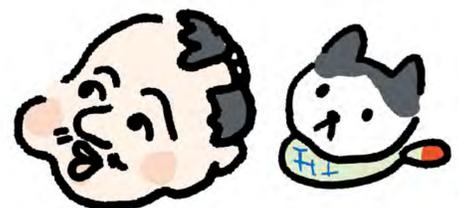


(5)裂地を取り外す



(6)解体後、乾燥させる

普段は掛軸を支るために紙や
裂地を継ぎ合わせているんだね。



05

本紙の旧裏打紙うらうちがみの除去

養生紙を敷いた上に本紙を置いて、裏面から湿りを与え、旧裏打紙を取り除きます。



(1)本紙全体に噴霧器と水刷毛で湿りを入れる



(2)旧裏打紙を取り除く

06

本紙の補修

透明な作業台の下からの透過光で本紙の状態を確認しながら欠損部分に新たな紙を補填ほてんします。ここでは本紙と同質の紙を使います。



穴の空いた部分に似た紙を補う

07

肌裏打ちはだうらう

本紙や裂地の補強・変形を防ぐために1枚目の裏打ちを行います。肌裏打ちで使う紙は本紙を支えるものになるので、新糊しんのりと薄美濃紙うすみのがみを使用します。



(1)使用する紙に新糊をつける



(2)糊付けした紙を置く



(3) 撫刷毛を使って紙を密着させる



(4) 乾燥させる

08 表装裂地の準備

表装に使う裂地を裁断し、本紙と同様に裏打ちを行い、乾燥させます。



(1) 使用する裂地を裁断する



(2) 裁断した裂地を湿らせた後、伏せて紋様を揃える



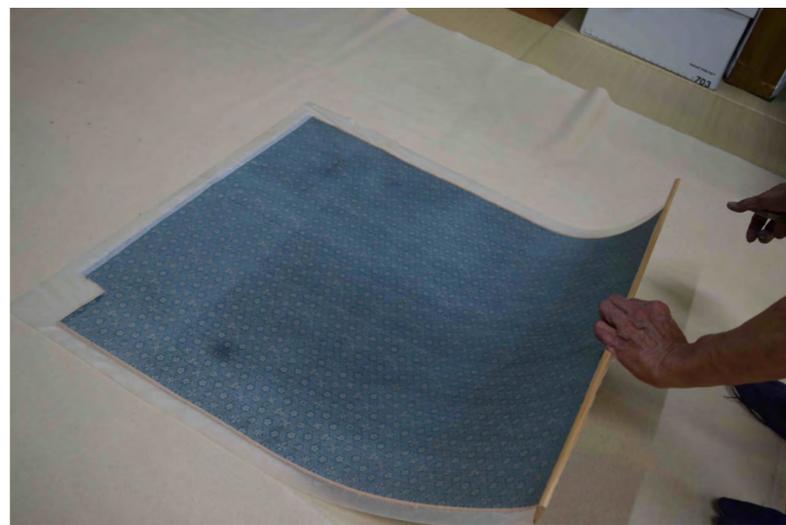
(3) 美濃紙に新糊で糊付け



(4) 裂地に糊付けした紙を置く



(5) 撫刷毛で裂地と紙を密着させる



(6) 裏打ちした裂地を乾燥させる

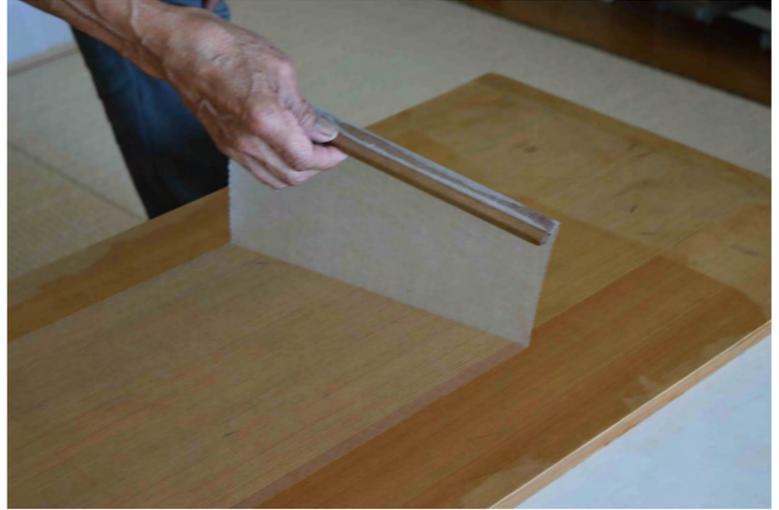
09

増裏打ち

本紙と裂地の補強と厚さ調整のためにさらに裏打ち（増裏打ち）を行います。新糊より接着力の弱い古糊ふるのりで美栖紙みすがみを密着させ、糊が乾かないうちにうちぼけに打刷毛で圧着させます。



(1)古糊の準備



(2)糊付けした紙を持ち上げる



(3)湿らせておいた本紙に糊付けした紙を置き、
撫刷毛で密着させる



(4)打刷毛でさらに密着させ、乾燥させる

10

張り込み

本紙と各裂地の伸縮のバランスを整え、かつ平滑にするために仮張り板に貼り、切り継ぎに備えます。



(1)本紙に湿りを入れて平らにする



(2)仮張り板に貼り、乾燥させる



(3)乾燥後、仮張り板から本紙と裂地を取り外す

11 おぶ折れ伏せ（折れ入れ）

細く切った丈夫で薄い和紙（薄美濃紙など）を本紙の折れや、折れそうな箇所の裏から貼り合わせます。



牙へらに細く切った和紙を巻き取り、指で置く

12 きつ切り継ぎ（つけ廻し）

本紙の周囲に一文字や総縁（上下と柱のこと）などの裂地を継ぎ合わせます。



(1)紋様を合わせながら裂地を裁断する



(2)新糊で各部分を貼る



げんのう かなづち
(3)玄能（金槌の一種）で継ぎ目を密着させる

13 そうらう 総裏打ち

裏面の仕上げとなる裏打ちです。厚みがあり、表面が滑らかなうだがみ宇陀紙と古糊を使用します。



(1)全体に湿りを入れた後、古糊を付けた宇陀紙を置く



(2)撫刷毛で撫で付けて密着させる



(3)打刷毛で打ち付けてさらに密着させる



(4)撫刷毛で撫でつけて平滑にした後、乾燥させる

14

張り込み

掛軸を平滑にし、表装の幅と丈を均一に調整するために、水分を与えて十分に伸びた状態で四辺に糊をつけて仮張り板に貼ります。引っ張ったり緩めたりして幅を微調整し、乾燥によって安定させます。



(1)湿りを入れる



(2)仮張り板に四辺を糊づけする



(3)表装の幅を確認



(4)仮張り板に貼った後、約1ヶ月乾燥させる

15

じくぎ ほっそう 軸木・八双の準備

かんな
鉋や小刀を使って軸木と八双を作ります。



鉋で軸木を削る

16 仕上げ

軸木、軸首^{じくしゅ}、八双などを取り付け、掛軸として仕上げます。



(1) 仮張り板から剥がす



(2) 軸木を巻き込み糊付けする



(3) 八双を巻き込み糊付けする



(4) 環を八双に固定させる



(5) 掛緒に巻緒をつける

完成！

どんな風になったか、
展覧会に来て見てね！

7月4日（日）まで。



わくわく